

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 16 週（4月15日～4月21日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4人 類型 患者 2人、 無症状病原体保有者 2人 血清型 O157 2人、O26 1人、 O8・O25 同時検出 1人
四類感染症 E型肝炎	3人 推定感染地域 国内 3人
A型肝炎	1人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	2人 病型 肺炎型 2人
五類感染症 カバペ 耐性腸内細菌目細菌感染症	1人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4人 血清群 A群 3人、B群 1人
後天性免疫不全症候群	1人 病型 AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	1人
梅毒	9人 病型 早期顕症Ⅰ期 3人、 早期顕症Ⅱ期 3人、晩期顕症 1人、 無症状病原体保有者 2人
播種性クリプトコックス症	1人
百日咳	1人 年齢階級 30歳代

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

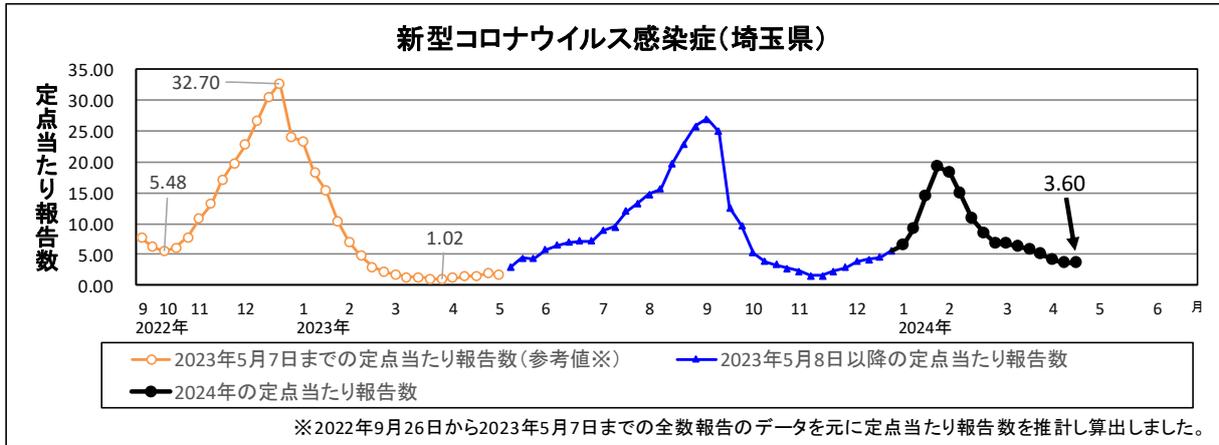
新型コロナウイルス感染症(3.60→3.60:図1)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、鴻巣(5.56)、坂戸(5.40)、幸手(5.21)、熊谷(5.00)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は34人(前週45人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の約79%であった。RSウイルス感染症(1.82→2.01:図2-1～2)の定点当たり報告数は、第11週以降増加傾向にあり、過去4年の同時期と比較しても高い水準にある。保健所別では、幸手(3.44)、川口市(3.17)、南部(3.00)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1歳以下の報告が多く、全体の約63%であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.46→4.69:図3-1～2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、春日部(15.00)、幸手(10.33)保健所管内からの報告が多い。咽頭結膜熱(0.36→0.50)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。インフルエンザ(2.91→1.72:図4)の定点当たり報告数は、12週以降減少傾向が続いており、県内全保健所管内において、3週連続で前週の値を下回った。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎26人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎1人、インフルエンザ(入院)2人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第16週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

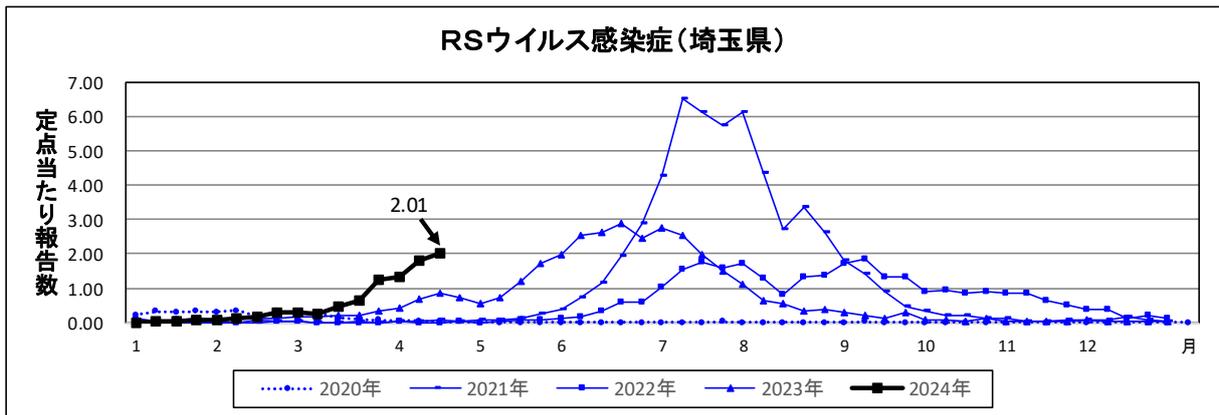


図2-2 RSウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2024年第14週～第16週）

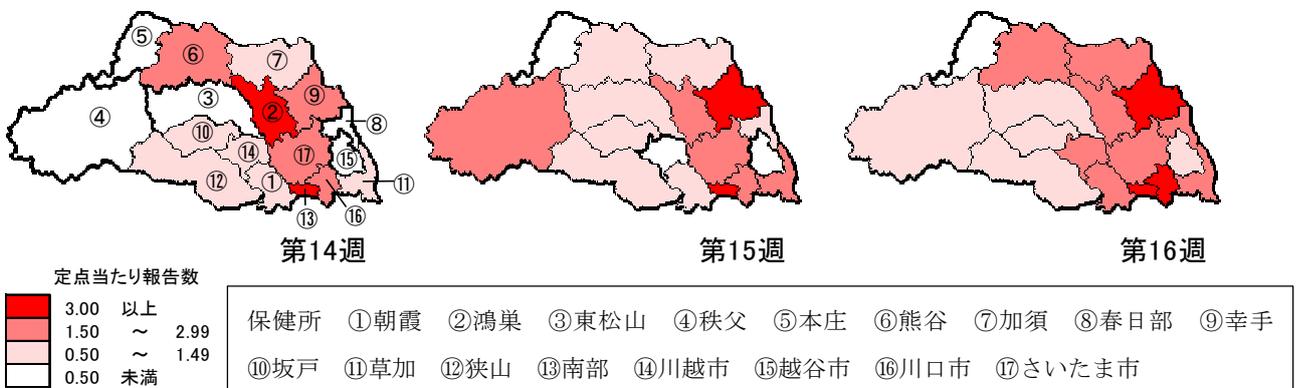


図 3-1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

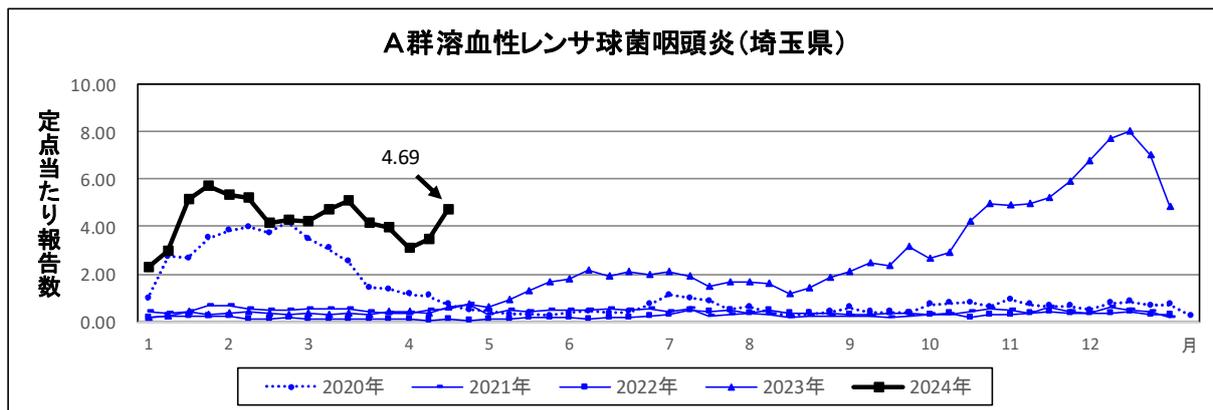
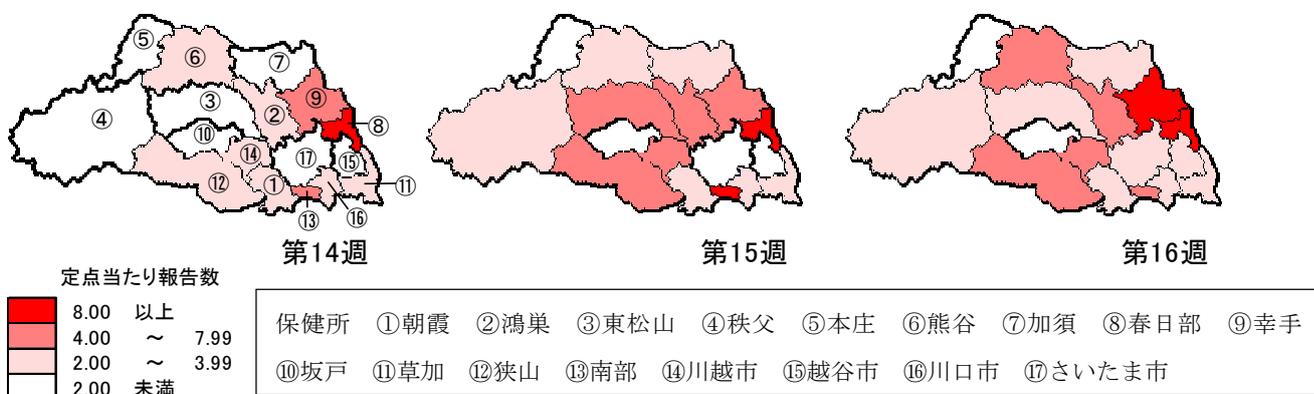
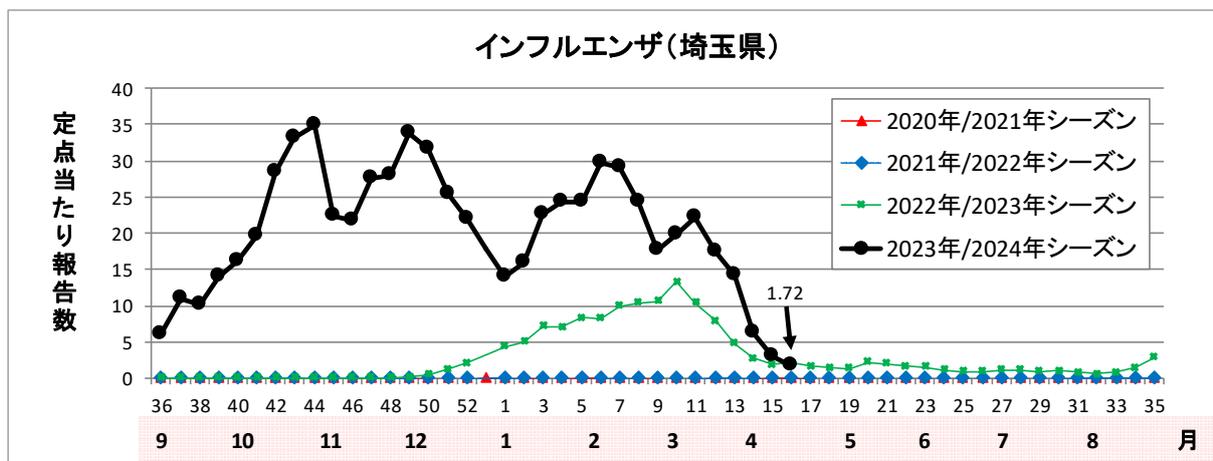


図 3-2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 14 週～第 16 週)



<インフルエンザ流行情報 (第 16 週) - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図 4 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第16週)

(2024年4月23日 17:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	36			
四類感染症					
E型肝炎	3	14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	3	ニバウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		1
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	26
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		10	侵襲性肺炎球菌感染症	1	32
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	20	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	9	128
急性脳炎		10	播種性クリプトコックス症	1	3
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	52	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	7	百日咳	1	14
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第16週

4月15日~4月21日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
全 県	報告数	446	933	326	81	760	719	49	17	8	50	9	13	-	26	-	-	1	-	-	2	34
	定点当たり	1.72	3.60	2.01	0.50	4.69	4.44	0.30	0.10	0.05	0.31	0.06	0.08	-	0.62	-	-	0.08	-	-	0.17	2.83
朝 霞	報告数	39	61	30	-	48	78	2	1	1	6	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	1.70	2.65	2.00	-	3.20	5.20	0.13	0.07	0.07	0.40	0.07	0.20	-	0.50	-	-	-	-	-	-	3.00
鴻 巣	報告数	40	100	29	10	50	33	-	1	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.22	5.56	2.64	0.91	4.55	3.00	-	0.09	-	0.18	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	8	16	6	2	11	19	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	定点当たり	1.00	2.00	1.20	0.40	2.20	3.80	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	5.00
秩 父	報告数	11	17	3	-	9	2	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	2.20	3.40	1.00	-	3.00	0.67	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	25	24	1	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	3.57	3.43	0.25	-	1.50	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
熊 谷	報告数	19	65	12	4	43	39	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	1.46	5.00	1.50	0.50	5.38	4.88	-	0.25	-	0.13	-	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	2.00
加 須	報告数	6	21	10	6	22	2	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.60	2.10	1.67	1.00	3.67	0.33	0.33	-	-	-	0.17	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数	19	30	11	8	90	54	6	-	-	3	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.90	3.00	1.83	1.33	15.00	9.00	1.00	-	-	0.50	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	37	73	31	14	93	13	5	-	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.64	5.21	3.44	1.56	10.33	1.44	0.56	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	29	54	8	-	9	38	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	定点当たり	2.90	5.40	1.33	-	1.50	6.33	0.17	-	-	0.33	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	1.00	5.00
草 加	報告数	32	81	20	2	39	46	6	2	1	5	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.68	4.26	1.67	0.17	3.25	3.83	0.50	0.17	0.08	0.42	0.08	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	39	115	18	16	105	57	4	-	-	7	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.56	4.60	1.13	1.00	6.56	3.56	0.25	-	-	0.44	-	0.13	-	1.60	-	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数	8	15	15	1	39	37	4	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.00	1.88	3.00	0.20	7.80	7.40	0.80	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 越 市	報告数	8	42	15	4	38	40	5	-	-	7	1	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.57	3.00	1.88	0.50	4.75	5.00	0.63	-	-	0.88	0.13	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	46	51	7	4	24	67	2	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	3.54	3.92	0.88	0.50	3.00	8.38	0.25	-	-	0.38	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
川 口 市	報告数	25	71	38	4	44	104	7	2	3	4	1	4	-	8	-	-	-	-	-	-	11
	定点当たり	1.32	3.74	3.17	0.33	3.67	8.67	0.58	0.17	0.25	0.33	0.08	0.33	-	2.00	-	-	-	-	-	-	11.00
さいたま市	報告数	55	97	72	6	90	90	5	6	2	5	3	-	-	5	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	1.28	2.26	2.57	0.21	3.21	3.21	0.18	0.21	0.07	0.18	0.11	-	-	0.56	-	-	1.00	-	-	-	1.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第16週

4月15日～4月21日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	446	1	7	17	13	24	29	40	37	35	25	22	61	32	31	34	21	8	4	3	2
新型コロナウイルス感染症	933	12	20	33	23	22	19	14	11	9	14	10	68	58	85	105	102	117	80	74	57
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	326	29	64	111	68	34	11	5	4	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	81	1	1	20	11	9	10	9	4	6	2	1	4	1	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	760	-	6	32	62	62	65	72	101	91	66	65	94	6	38						
感染性胃腸炎	719	7	46	64	64	70	84	70	49	54	41	40	75	6	49						
水痘	49	-	1	3	6	5	4	7	5	3	4	3	6	1	1						
手足口病	17	1	2	5	6	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	8	-	-	-	1	3	1	-	2	-	1	-	-	-	-						
突発性発しん	50	-	11	28	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	9	-	1	5	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-						
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	1	1	2	1	3	2	1	1	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	26	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1	-	3	1	5	2	4	3	1	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1				
新型コロナウイルス感染症(入院)	34	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	2	-	1	27				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第14週 (4月1日～4月7日)

令和6年4月24日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(11.47)、新潟県(10.25)、愛媛県(9.67)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は204例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(19例)、1～9歳(80例)、10代(28例)、20代(3例)、30代(10例)、40代(6例)、50代(9例)、60代(4例)、70代(22例)、80歳以上(23例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(10.83)、宮城県(8.96)、岩手県(8.95)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,790例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(51例)、1～9歳(55例)、10代(15例)、20代(19例)、30代(29例)、40代(29例)、50代(95例)、60代(160例)、70代(437例)、80歳以上(900例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大阪府(3.39)、奈良県(2.91)、福井県(2.88)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第10週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.52)、岩手県(2.05)、新潟県(1.85)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(7.25)、北海道(6.41)、愛媛県(5.22)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第11週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(9.29)、大分県(7.25)、愛媛県(6.57)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は徳島県(1.22)、愛媛県(0.97)、福井県(0.88)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は岩手県(0.13)、東京都(0.07)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.16)、富山県(0.14)、群馬県(0.13)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第11週以降増加が続いている。都道府県別の上位2位は島根県(0.13)、鹿児島県(0.10)、沖縄県(0.10)である。

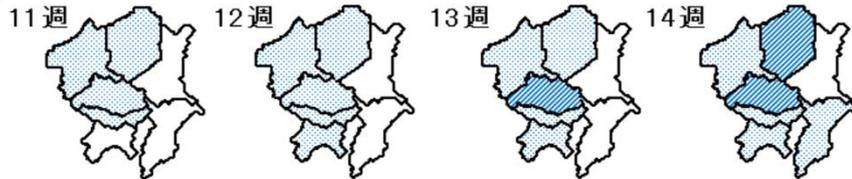
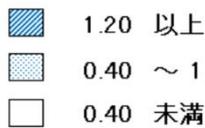
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.00)、沖縄県(0.57)、大阪府(0.39)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。5都道府県から5例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第14週(4月1日～4月7日):通巻第26巻 第14号 より

<関東情報>

RSウイルスの定点当たり報告数は、埼玉県(1.32)、栃木県(1.25)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2024年 14週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	25,106	8,249	830	558	714	1,600	1,225	1,744
	定点当たり	5.10	5.43	6.92	7.34	8.50	6.23	6.03	4.17
新型コロナウイルス感染症	報告数	20,968	5,707	598	388	386	1,062	963	1,145
	定点当たり	4.26	3.75	4.98	5.11	4.60	4.13	4.74	2.74
RSウイルス感染症	報告数	3,148	853	27	60	54	212	75	243
	定点当たり	1.01	0.89	0.36	1.25	1.02	1.32	0.60	0.92
咽頭結膜熱	報告数	1,769	327	22	28	26	65	60	53
	定点当たり	0.57	0.34	0.29	0.58	0.49	0.40	0.48	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,565	2,822	294	126	167	497	515	665
	定点当たり	3.06	2.95	3.92	2.63	3.15	3.09	4.09	2.53
感染性胃腸炎	報告数	11,375	3,286	209	83	225	651	471	1,010
	定点当たり	3.64	3.44	2.79	1.73	4.25	4.04	3.74	3.84
水痘	報告数	385	150	7	1	4	44	17	41
	定点当たり	0.12	0.16	0.09	0.02	0.08	0.27	0.13	0.16
手足口病	報告数	657	104	1	3	41	8	7	25
	定点当たり	0.21	0.11	0.01	0.06	0.77	0.05	0.06	0.10
伝染性紅斑	報告数	57	35	-	-	1	5	1	19
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	0.02	0.03	0.01	0.07
突発性発しん	報告数	714	210	7	9	19	44	28	62
	定点当たり	0.23	0.22	0.09	0.19	0.36	0.27	0.22	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	97	30	3	-	7	5	3	3
	定点当たり	0.03	0.03	0.04	-	0.13	0.03	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	110	44	1	3	1	12	5	15
	定点当たり	0.04	0.05	0.01	0.06	0.02	0.07	0.04	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	7	4	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.05	-	-
流行性角結膜炎	報告数	369	169	23	4	5	29	17	26
	定点当たり	0.53	0.82	1.44	0.33	0.36	0.69	0.52	0.67
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	10	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	41	6	3	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.09	0.07	0.23	-	-	0.08	0.22	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

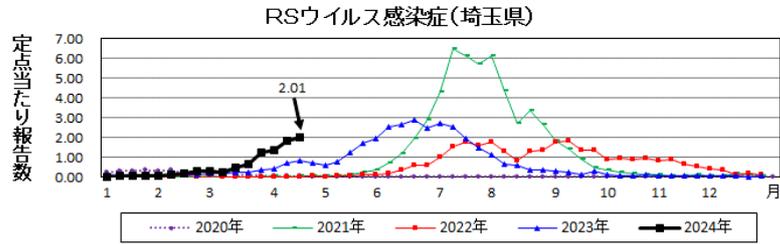
- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)

感染症の流行状況 2024年 第16週

2024年第16週（4月15日～4月21日）の要点

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第11週以降増加傾向にあり、過去4年の同時期と比較しても高い水準にあります。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

